

たかしま

Takashima City
Public Relations

かしま

広報

2017
平成 29 年

2 月号

No. 205

- 主な内容
- 特集1 琵琶湖の恵み「湖魚」に迫る… 2
 - 特集2 平成 29 年 高島市成人式 …… 6
 - ・税の申告がはじまります …… 10
 - ・第1回高島いいモノ・いいコトグランプリ
決定! 高島の「いいモノ・いいコト」 …… 13

シジミ漁をする中村清作さん



市の花
カキツバタ



市の木
サクラ



市の鳥
ヒバリ

スマートフォンで広報たかしまを配信しています

「広報たかしま」はスマートフォンアプリ「マチイロ」でも配信しています。
スマートフォンから当アプリをダウンロードしてお使いください。
※アプリのダウンロードは無料ですが、通信費は利用者のご負担になります。

琵琶湖の恵み 「湖魚」に迫る

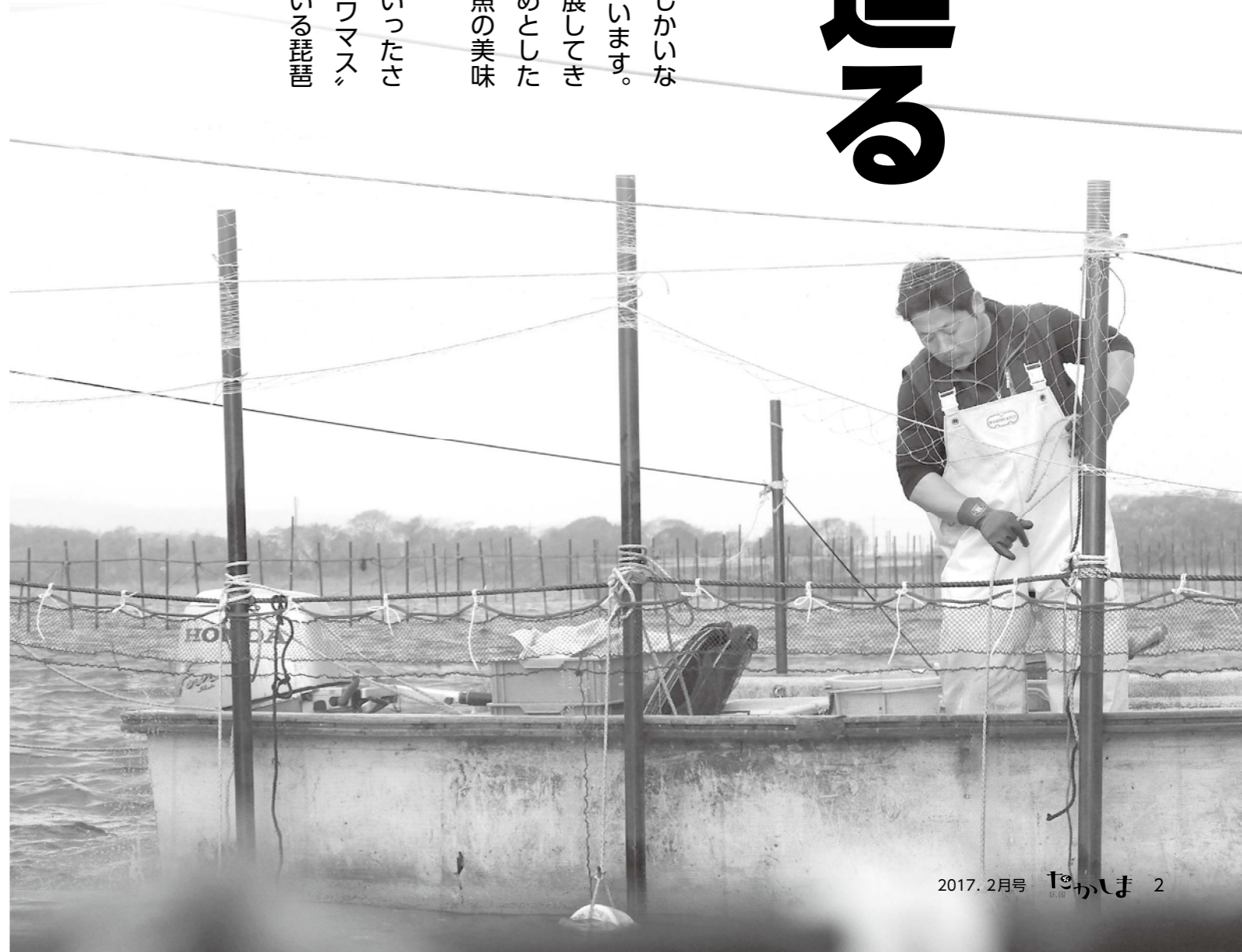
琵琶湖は美味しい食材の宝庫。

ビワマスやニゴロブナ、セタシジミなど琵琶湖にしかない魚介類を中心に、魅力的な湖魚がたくさん生息しています。

湖魚文化は、独自の漁獲方法や調理方法により発展してきました。佃煮、発酵食品、炊込みご飯、刺身をはじめとした伝統的な郷土料理はもちろん、洋風や中華風など湖魚の美味しい食べ方もさまざまです。

近年、漁師の高齢化や後継者不足、消費量低下といったさまざまな問題に直面する一方で、琵琶湖固有種「ビワマス」の美味しさが日本一に選ばれるなど、今注目されている琵琶湖の水産業。

その現状や食を通じた魅力と可能性に迫ります。



(写真：滋賀県提供)

ビワマス

大きいものは60cmに達するサケ科の琵琶湖固有種。琵琶湖に注ぎ込む河川で冬にふ化した稚魚は初夏に琵琶湖へ下り、3～4年成長した後、故郷の河川へ再び遡上し、卵を産んで一生を終えます。

漁業のこれから

高島市内には、12の漁業協同組合（湖の漁業協同組合が8団体、河川の漁業協同組合が4団体）があります。年間を通じて、琵琶湖および河川で伝統的な漁が行われています。「えり漁」、「やな漁」、「追いさで漁」など、漁獲方法もさまざまです。（下記参照）

県下の漁業就業者は、年々減少傾向にあり、平成25年度には700名を割り込むなど、20年前と比較すると、当時の半数以下まで落ち込み、次世代における担い手の育成が重要な課題となっています。

また、漁獲量は800トン（外来魚を除く）となっており、20年前と比較すると、四分の一程

度まで減少しています。原因としては、ブラックバスなどの外来魚やカワウによる食害、琵琶湖の水質変化などが大きな影響を与えていると考えられています。また、消費者の生活様式や食生活が変わり、湖魚を食べない家庭が増えてきたことも一因と考えられます。

これらの現状を受け、滋賀県では、資源量増加や産卵繁殖場の回復を目的とした種苗放流や湖辺のヨシ帯の整備、カワウの被害対策などを行うとともに、漁業の新規就業者確保に向けた技術研修などの支援も始めています。（詳しくは滋賀県水産課 [077-52813873](tel:077-52813873) までお問い合わせください。）

市内の漁業協同組合で構成する高島市漁業振興連絡会では、学校向けの漁業学習や料理教室の実施により、湖魚の普及促進に努めています。

次ページでは湖魚料理の魅力や料理教室をご紹介します。

高島市の漁業協同組合（湖）

- 海津
- 百瀬
- 浜分
- 今津
- 湖西
- 北船木
- 三和
- 高島

伝統漁法

【えり漁】

湖岸から沖合に向かい矢印型に網を張り、湖岸によってきた魚の習性をうまく利用し、「つぼ」と呼ばれる部分に誘導し閉じこめて漁獲する方法。



【やな漁】

川をさかのぼろうとする魚の習性を利用し、扇状に設置した簀（す）に沿って魚（アユやマスなど）を川岸に誘導して漁獲する方法。



【追いさで漁】

春になり岸辺付近で群をつくっているアユを、カラス等の羽を付けた棒で、さで網を持つ受け手の方へ追い込み漁獲する方法。



高島市で行っている伝統漁法をご紹介します。実際の漁の映像を二次元コードからご覧いただけます。

琵琶湖の魚と旬

長い歴史を持つ古代湖である琵琶湖には、現在魚類や底生生物等を含めて50種類以上の固有種が確認されています。代表的な固有種の旬とおすすめの料理をご紹介します。固有種以外にも、氷魚（鮎の稚魚）など、琵琶湖には美味しい魚がたくさんいます。

名前	旬	おすすめの料理
ビワマス	夏	ます飯、塩焼き、刺身、丼
ニゴロブナ	冬	鮎寿司
ホンモロコ	秋・春	素焼き、南蛮漬け
イサザ	冬・春	佃煮、じゅんじゅん（イサザを使ったすき焼き）
ゴリ	夏	山椒煮
セタシジミ	冬・春	味噌汁



ニゴロブナ
(写真：滋賀県提供)



ホンモロコ
(写真：滋賀県提供)



セタシジミ



氷魚（ヒウオ）

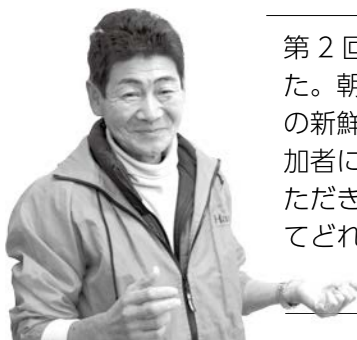
湖魚



第2回の料理

参加者の声

・漁師さんから直接魚のことを学べ、大変有意義でした。
・食材として湖魚を取り入れたいです。



三和漁業協同組合
代表理事組合長 梅村 恒明さん

第2回で講師を務めました。朝に捕ってきたばかりの新鮮な氷魚を使って、参加者に釜飯などを作っていたいただきました。手軽にできてどれもとってもおいしいですよ!!



湖魚料理のレシピはこちらからご覧いただけます！
ぜひ、ご家庭で味わってください。

高島市漁業振興連絡会では、湖魚の消費拡大を目的として「湖魚の料理教室」を実施しています。第3回目は、琵琶湖の新鮮な魚介類を使った、親子による料理作りを行います。講師に食育インストラクターの古沢みどりさんと海津漁業協同組合の中村清作さんを招き、小中学生と保護者の親子8組を対象に開催します。詳しくは、事務局（高島市森林水産課）までお問い合わせください。

関森林水産課 ☎(25) 85112

第3回 湖魚料理教室 「親子でつくる湖魚料理」

- 日時 2月18日(土) 10時~14時
 - 場所 マキノ土に学ぶ里研修センター
 - 参加費 1組1,000円 (1組2名まで)
- ※応募多数の場合は、抽選により参加者を決定します。(8組限定)

お申し込みは森林水産課まで。
締切は、2月10日(金)17時までです。



漁師飯を味わう

湖魚料理教室

を食す

もともとは、漁師、鮮魚店、郷土料理屋、行政職員の4人が行った飲み会の場のノリで、湖魚の美味しさをPRするため、「Fish-h-1グランプリ」に初めて参加することに決めました。しかし、やるからには「真剣」。何度も集まって、何時に解凍し、さばいて盛り付けたら、最高の状態で湖魚ビワマスを食べてもらえるか試行錯誤しました。その結果、前日早朝にさばいて、冷蔵庫に入れ、温度管理にこだわってトラックで東京まで持っていき、当日スライスすることにしました。

味は、しょうゆ漬けにした卵を乗せるだけ、魚の味で勝負！お米、水とも

滋賀県産にこだわりました。予選を勝ち抜いた6組のうち、5組は海の魚。知名度も上。そんな中、「天然ビワマスの親子丼は、来場者の方にも審査員にも「美味しい」と評価され、見事グランプリを受賞することができました。最高にうれしかったです。受賞コメントで私は、「今日尽くせるベストは尽くしましたが、おいさのベストではありません。最高の状態のビワマスは、滋賀県まで食べにきてください！」と訴えました。これをきっかけに、滋賀県に訪れる方が増えればと思っています。

食材には食べるのに適した旬があります。海水魚、湖魚それぞれ旬や食べ頃が違います。湖魚は鮮度

が命で、旬の時期に食べ頃の状態で食べることができれば、とっても美味しい魚なんです。皆さんは、捕ったばかりの湖魚をよい状態で食べることができる最高のところに住んでいます。

市内にはまだまだたくさんの方の魚屋さんがいますので、足を運び「旬の魚は？」「おいしい調理法は？」「こんな魚があつてへんの？」など、話しかけてください。消費者と魚屋さんのそういったつながりで、湖魚を食べる文化が広まりますし、若い漁師が増えるなど市内の漁業の振興につながっていくと思います。

滋賀県漁業協同組合連合青年会
会長 中村 清作さん
(海津漁業協同組合 理事)



昨年11月に東京で開催されたFish-h-1グランプリ。全国の漁師が競う湖魚の料理コンテンツ「プライドフィッシュ」部門で、「天然ビワマスの親子丼」がグランプリを受賞しました。



(写真：滋賀県提供)

【天然ビワマスの親子丼】

琵琶湖の魚は、実は とっても美味しいんです！

フィッシュワン
Fish-h-1グランプリで、グランプリを受賞した滋賀県漁業協同組合連合青年会の会長 中村清作さんにお話を伺いました。





◆ 新成人へのメッセージ ◆

これからは成人としての自覚を持って、権利と義務を行使し責任を負って歩まれることとなります。皆さんが、若さや行動力とともに「愛敬の心」を常に抱いて、自分の信じる道と限りない可能性に向かって、失敗を恐れず進まれることを心から期待し、新たな門出を祝福いたします。

高島市教育委員会 教育長 富永 雄教



特集2

平成29年 高島市成人式

1月8日（日）、高島市民会館で行われた平成29年高島市成人式。448人の若者が集い、新たな一歩を踏み出しました。

図青少年課 ☎(32) 4458



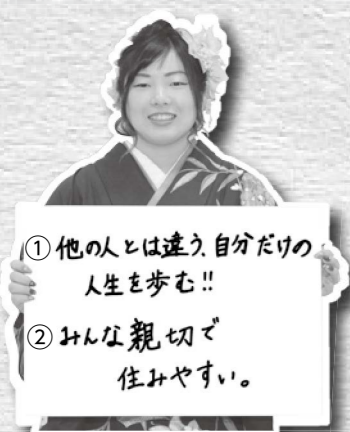
心新たに大人への一歩

成人式当日、会場は色鮮やかな着物やスーツを着た新成人で賑わい、式典が始まるまでの間、学生時代を写真で振り返るスライドショーで盛り上がりました。また、同級生や友人との再会を喜び、思い出話に花を咲かせる姿が見られました。

式典では、成人式の企画・立案に奮闘してきた成人式実行委員会のメンバーが舞台に登壇し、「自分たちの成人式を良いものにしよう」と参加者に呼びかけました。続いて新旭鼓西太鼓の皆さんによる気迫あふれる太鼓の音色が会場に響き渡りました。

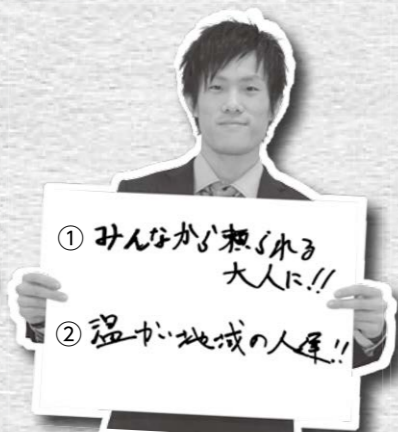
市長式辞とご来賓の方からのメッセージが贈られた後、新成人を代表して、実行委員長 藤村 翔吾さんが「今まで支えていただいた家族や友人、恩師、地域の方々などすべての方に対して感謝の気持ちを忘れず、常に高い理想を持ち続け、未来に向かって輝く人材になれるよう日々精進します」と、誓いの言葉を述べられました。

心新たに大人としてのスタートを切った新成人は、「大人としての自覚」「感謝の心」「社会での役割」「夢」などさまざまな思いを胸に、自身のめざす目標に向かって着実に歩みだしました。



① 他の人とは違う自分だけの人生を歩む!!
② みんな親切で住みやすい。

文野 礼菜さん (今津中学校出身)



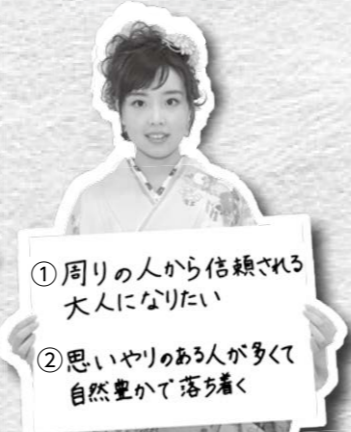
① みんなが楽しめる大人に!!
② 温かい地域の人情!!

三浦 陽汰さん (朽木中学校出身)



① 笑顔の素敵な女性になること
② 心地良い自然

古川 綾佳さん (湖西中学校出身)



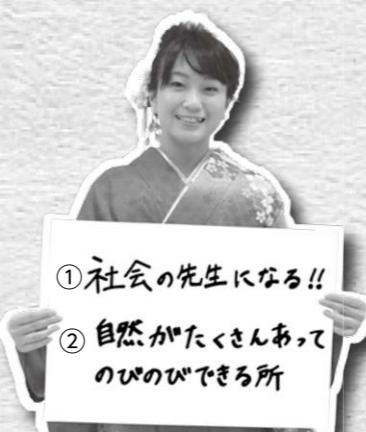
① 周りの人から信頼される大人になりたい
② 思いやりのある人が多くて自然豊かで落ち着く

白井 理沙子さん (高島中学校出身)



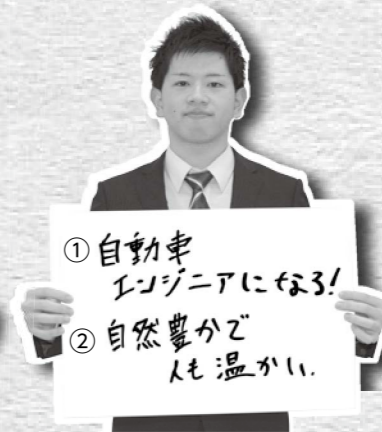
① バイオテクノロジーで滋賀に貢献したい
② 自然が豊かで落ち着くところ

庄司 知広さん (安曇川中学校出身)



① 社会の先生になる!!
② 自然がたくさんあってのびのびできる所

峯森 有紀さん (マキノ中学校出身)



① 自動車エンジニアになる!
② 自然豊かでも温かい。

成人式実行委員会 委員長 藤村 翔吾さん (湖西中学校出身)

新成人に聞きました!
① 「二十歳の誓い」将来の夢は?
② 高島市の良いところは?



農業委員・農地利用最適化推進委員を募集します

農業委員会事務局 ☎(25) 8513
農業政策課 ☎(25) 8511

農業委員会等に関する法律が改正されたことに伴い、「農業委員」の選出方法が「選挙」から「推薦・応募」に変わりました。また、法律改正により新設された「農地利用最適化推進委員」も募集します。

▶募集人数と資格

【農業委員】…19人

農業に関する識見があり、農地等の利用の最適化の推進に関する事項等の職務を適切に行うことができる方等。

【農地利用最適化推進委員】…30人

(内訳) マキノ地域5人、今津地域6人
新旭地域6人、高島地域5人
朽木・安曇川地域8人

農地等の利用の最適化の推進に熱意と識見がある方等。

※応募・推薦者多数の場合は、選考委員会による選考をします。

▶任期 平成29年7月20日

～平成32年7月19日(3年間)

▶推薦および応募の種類

①個人からの推薦 ②法人または団体からの推薦 ③ご自身での応募

▶推薦・応募期間

2月20日(日)～3月21日(日)

▶推薦・応募用紙

応募用紙等は、各支所、農業委員会事務局、農業政策課で配布しています。市のホームページからもダウンロードできます。

▶提出先 農業委員会事務局・農業政策課

詳しくは、下記説明会に参加いただくか、お問い合わせください。

推薦・応募説明会

▶日時 2月12日(日) 10時30分～

▶場所 安曇川公民館

12月補正予算の概要

財政局課 ☎(25) 8111

平成28年度12月補正予算が、12月議会で可決されました。今回の補正予算の概要は次のとおりです。

○歳入歳出補正予算

区分	補正額	補正後の額
一般会計	9億4,672万円	306億9,647万円
特別会計	1億7,288万円	165億2,575万円
事業会計	0万円	82億2,855万円
予算総計	11億1,960万円	554億5,077万円

※1万円未満を四捨五入しています。

○主な事業

▶びわ湖高島えんむすび事業 6,000万円

ふるさと納税の寄付見込みを3億円から4億円に増額し、併せて寄付いただいた市外の方への返礼品に必要な経費を増額します。

▶鉄道駅バリアフリー化事業 2,373万円

JR新旭駅のエレベーター整備についてJR西日本に対し補助します。

▶小学校大規模改造事業 2億6,794万円

建築から27年が経過した本庄小学校校舎について、国の交付金の内定を受け、大規模改造工事により教育環境の整備を行います。

▶担い手確保・経営強化支援事業 4,789万円

意欲ある農業者の経営発展を促進するため、農業用機械等を取得する場合、取得に必要な経費に対して助成します。

▶障がい福祉サービス事業 6,991万円

障がいのある人の日常生活および社会生活を総合的に支援する障がい福祉サービスの利用量の増加に対応するため増額します。

宝くじの収益が、コミュニティ活動に役立てられています

市民協働課 ☎(25) 8526



一般財団法人自治総合センターが実施しているコミュニティ助成事業(宝くじ助成)を活用し、次の物品を整備しました。

▶黒衣の整備

(祭の衣装)
北深清水区



「高島市まち・ひと・しごと創生総合戦略」とは…

将来にわたって安心して暮らし続けることができる、持続可能な地域社会づくりに取り組むため昨年策定した計画です。

- 4つの基本目標
- ①高島における安定した雇用を創出する
 - ②高島への新しいひとの流れをつくる
 - ③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
 - ④時代に合った地域を作り、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

「高島市まち・ひと・しごと創生総合戦略」事業の取り組みを紹介するコーナーの第9弾です。
今回は、基本目標①「高島における安定した雇用を創出する」の取り組みとして「インバウンド誘客促進事業」を紹介します。

インバウンド誘客推進事業 (訪日外国人旅行者の誘客を目指して)

インバウンドとは
海外から外国人の観光客が訪れる旅行のこと。

増加する訪日外国人旅行者

国内旅行市場が縮小する中、日本を訪れる外国人旅行者は、平成28年に初めて2000万人の大台を超えるなど急激に伸び、平成29年には2700万人に上るとされています。この増加傾向は、平成32年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、外国人観光客の誘致活動がより活発化していくことから、今後も続くと考えられています。

これら日本を訪れる外国人旅行者の特徴として、50%以上がリピーター(再来日者)といわれています。リピーターは新しい観光地を求めて地方へ行く傾向が強いとされ、高島市をはじめとした日本の各地が、新たな観光目的の地として訪れてもらう機会が増えています。

ファミトリップの実施

市では、昨年度からインバウンド誘客促進事業として、訪日外国人旅行者の誘客による地域活性化の可能性や商品戦略の方向性、市内観光資源の調査等に取り組んできました。

今年度は、滋賀県を訪れる外国人で最も多い台湾の旅行会社や、メディア関係者を高島市に招いた「ファミトリップ」、台湾旅行博覧会でのPR活動を実施しました。

ファミトリップとは
観光地などの誘客促進のため、旅行事業者等を対象に現地視察をしてもらうツアー。



このファミトリップの様子は、台湾の旅行雑誌への掲載や、旅情報番組(日本神紀行・中国電視)としてテレビ放映されるなど、高島市の魅力が台湾に広く発信されることとなりました。また、参

加者のブログやホームページ等による、いわゆる「口コミ」での観光情報発信も併せて行われました。

なお、このファミトリップでは、市内の観光関係者と台湾の旅行事業者との交流会を開催し、市内の観光施設や宿泊施設のプレゼンテーションが行われるなど、現地の旅行事業者との情報交換が図られました。

今後は、今回のファミトリップを通じて作られる「高島市を目的地とした旅行商品」の売り込みなどを戦略的に発信し、訪日外国人旅行者の誘客による地域の活性化に取り組む予定です。

総合戦略課 ☎(25) 8114
観光振興課 ☎(25) 8040



中国電視「日本神紀行」放映の様子



二次元コードを読み取ると番組(動画)を見ることができます。